

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	子育て支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	介護福祉課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 - 4	
事業内容	離島・へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポーター育成や相互援助活動支援等を実施した。地域ぐるみの子育てをすることで、児童育成の健全化や地域交流の機会を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	517	2,516			
		(b)予算現額	517	2,523			
		(c)増減額(b-a)	0	7			
		(d)繰越額	-	0			
		A.計(b+d)	517	2,523			
	B.執行済額		489	2,523			
	うち交付金充当額		391	1,455			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		94.6%	100.0%			
予算の状況の説明		・事業費は平成25年度目標に対し、適正な予算であったが、交付決定前の早期着手手続きがなされず、対象外経費が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	保育サポーター養成講座の開催	目 標	(1回)	(1回)	()	()	
		実 績	1回	1回			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・4日間(6月29・30日、7月6・7日)の保育サポーター養成講座を1箇所(石垣市)で開催し、計6名が受講した。講座修了後は、全員がファミリー・サポート・センターおたすけ会員(預かる人)として登録した。平成25年度実績は、おたすけ会員14名(前年度+6名)、おねがい会員47名(前年度+17名)、どっちも会員2名(増減なし)、預かりのべ人数567名となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	保育サポーター養成講座の開催(修了者数)	目 標	(0)	(5名)	(18名)	()	()
		実 績		8名	6名		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・H24年度は人口の多い西表島で養成講座を開催し、8名の修了者ができたのに対し、本年度はより多くの地域での修了者獲得を目的として講座開催地を石垣市へ変更し、その旅費を補助することにより町内4地区からの参加者が集まった。合計の目標人数には、石垣市までの移動に要する時間の制限等の理由から下回ってしまったものの、預かりのニーズの多い西表島西部・東部で1名ずつ、今まで会員のいなかった小浜島3名、黒島1名のサポーターを養成し、援助活動のできる地区を拡大することができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・連続した土日2日間を2週間続けての講座開催は、離島からの時間・経済的負担が大きい。受講希望者自身も子育て中の場合、参加が難しい。</p> <p>・平成25年度に新たな2地区の保育サポーターが養成されたが、まだ町内で竹富地区・波照間地区の会員がいない。</p>	<p>・参加者の日程調整の都合がつきやすいよう早くから講座開催日のお知らせをする。</p> <p>・引き続き、講座修了者は宿泊費と旅費の補助があることを周知する。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターで、受講中の子ども預かりができるよう検討する。</p> <p>・各地区の保育所、母子保健推進員などに講座参加への積極的な呼びかけによる協力依頼をする。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・子どもを預かることのできる会員を増やし、町内全域で援助活動ができるよう、保育サポーター養成講座の周知に努める。また、引き続き離島からの旅費補助や、新たに受講中の子ども預かりなど、希望者が講座を受講しやすい環境を整える。事業説明やパンフレット配布など、ファミリー・サポート・センターの活動について広く広報し、住民の利用を促進する。</p> <p>・子育て環境の充実の要望が多数寄せられたことから、平成25年度までの計画であったが、平成26年度も引き続き事業化する。</p>		

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	妊婦支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (2) - ア	
担当部課名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフネットの充実	
事業内容	竹富町には産婦人科の医療機関がなく、妊婦は町外の出産施設へ検診・出産待機する必要がある、経済的負担となっている。妊娠出産にかかる経済的負担を軽減し定住環境の充実を図るため、竹富町に住所を有し、母子健康手帳の交付を受けた者が、妊婦健康診査を受診する際に船舶運賃を助成する。また、待機宿泊については、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産のため滞在した宿泊費について1泊2千円を限度として助成する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,374	2,901			
		(b)予算現額	1,330	1,736			
		(c)増減額(b-a)	1,044	1,165			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	1,330	1,736			
	B.執行済額		882	1,670			
	うち交付金充当額		705	1,336			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		66.3%	96.2%			
予算の状況の説明		・母子手帳交付時に事業説明することにより周知することができ、執行率を増加することが出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・妊婦旅費助成	目 標	助成実施	助成実施	()	()	
		実 績	助成実施	助成実施完了			
	・妊婦宿泊助成	目 標	助成実施	助成実施	()	()	
		実 績	助成実施	助成実施完了			
達成状況説明	・母子手帳と領収書による申請をもとに、妊婦健康診査を受診する際の船舶運賃及び宿泊費助成を行い、妊娠出産にかかる経済的負担軽減した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・妊婦旅費助成	目 標	(59件)	(200回)	(840回)	()	()
		実 績		189回	334回		
	・妊婦宿泊助成	目 標	(22件)	(200日間)	(400日間)	()	()
		実 績		290日間	429日間		
	進捗状況説明	・旅費助成において、妊婦健診は14回の公費(受診券)で受診することができるため、目標を14回×年間出生数(60人)で設定したが、36週以降は島外での待機宿泊となるため目標を下回ることとなった。しかし前年度に比べ、件数は増加しているので事業成果は向上していると考え。 ・宿泊助成は母子手帳交付時に事業説明することで周知することができ、目標を上回った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊費は、36週以降の妊婦が県内の宿泊施設で宿泊した際に支給するので過数の確認を徹底する。 ・36週以前に出産し待機宿泊する妊婦は対象から外れているが、子が未熟児であるなどの理由から母親と一緒に退院できない場合がある。先に退院した母親は宿泊施設に滞在しながら病院に通うことになることから経済的・精神的にも大きな負担となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊補助において、申請された宿泊費の平均額が初期の見込みよりも高いことが補助申請時の領収書から予測されるので、宿泊補助の増額を検討する。 ・定住化を図る視点からも未熟児の産婦に対しても補助が受けられるよう改善が必要と考える。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊費を1泊3千円へ増額することにより、妊娠出産にかかる経済的負担軽減を図る。 ・本町へ転入した妊婦へ対し、手続方法を事前に知ってもらえるよう広報をする。 ・妊娠出産に係る経済負担の軽減が図られていることから、平成33年度まで引き続き事業を行う。 ・未熟児の産婦に対する補助導入を検討する。 		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,670</td><td>1,670</td><td>1,336</td><td>334</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,670	1,670	1,336	334	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,670	1,670	1,336	334	0										
<div> <div> <div>竹富町 1,670千円</div> <div> <div>妊婦健診 運賃補助 812千円</div> <div>妊婦宿泊費 補助 858千円</div> </div> </div> <div>補助対象町民</div> <div> <div>妊婦健康診査受診時 渡航費の補助 45名</div> <div>妊婦待機宿泊費補助 19名</div> </div> </div>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
		支出先の選定方法は妥当か。	・補助対象の確認は母子健康手帳により行い適正であったと考える。 ・費目・使途については、必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。 ・受益者負担について、運賃補助は住民割引額等を限度額とし、宿泊費補助は2,000円/泊を限度とするため、妥当である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	観光客誘致対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					- 1 - (1)		
事業内容	竹富町・石垣市・与那国町と連携し、八重山・竹富町への観光客誘致を目的に、国内各地をはじめ、県内外も含めた観光客誘致プロモーションを実施した。入域観光客数の量的な充足を踏まえて、持続可能なバランスのとれた観光交流空間の創造へと導く為に、自立に向けた地域主体の観光振興、豊かな自然の保護と共存共栄を図り、竹富町の観光を支える組織及び人材育成と地域資源の保護・保全・無形文化を継承する地域コミュニティの強化を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額	15,948	31,837			
		(c)増減額(b-a)	15,948	31,487			
		(d)繰越額	0	350			
		A.計(b+d)	-	-			
	B.執行済額	うち交付金充当額	15,606	24,540			
		次年度繰越額	12,484	19,632			
		執行率(%) (B/A)	0	0			
		97.9%	77.9%				
	予算の状況の説明	・誘客の効率化(参加催事の再検討、催事参加日程及び人員体制の再考、旅程確定の早期化による経費圧縮など)、及び実施事業項目の効率化(統廃合など)により縮減することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	観光誘致活動	目 標	(開催13箇所)	(開催12箇所)	()	()	
		実 績	国内13箇所 国外2箇所	国内21箇所 国外1箇所			
	町内誘客活動・受入対策	目 標	(-)	(3事業・3件)	()	()	
		実 績	-	1事業・3件			
	達成 状況 説明	・目標としていた開催箇所数は、日程調整や同一行程による効率化の結果、当初目標を上回り、国内外の活動を合わせて計21箇所となった。 ・町内誘客活動・受入対策においては当初それぞれ単独項目として当初計画した3事業(誘致活動、誘客広告宣伝、観光客受入対策)を、時期・人員等を効率化させるために集約し、1事業(誘客・受入対策)として実施した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	観光誘客活動来場動員数 (25年度はJATA旅博2013が指標)	目 標	(-)	(10万人)	(15万人)	()	()
		実 績		32万人	13万人		
	[参考指標] 入域観光客数	目 標	(77万人)	(80万人)	(80万人)	()	(100万人)
		実 績		93万人	105.7万人		
	進 捗 状 況 説 明	・平成20年の113万人をピークに減少を続けていた竹富町の入域観光客数は、新石垣空港の開港による便数の増加・機材の大型化やLCCの就航に伴い、リーマンショックを始め長引く景気低迷や東日本大震災の影響からようやく脱しようとしている。当初目標とした平成25年度における入域観光客数80万人に対して105.7万人と、開港効果も伴い大幅な入域増となっている。 また、25年度の指標としたJATA旅博2013においては、昨年対比率を大きく設定したため目標に達成しなかったが、全イベントでの来場者延数(観光誘客活動来場動員数)は1,257万人であった。このうち、設営ブースにて説明やパンフレット配布を行ったブース来場者延数は23,089人であった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・竹富町を始めとする八重山圏域の基幹産業である観光は、外的要因による変動が激しいため、指標とする観光入域客数に誘客活動の成果が即座に反映されているかは、より慎重に見ていかなければならない。</p> <p>特に平成25年度は新石垣空港開港に伴う大幅な入域増が事業成果につながっていることは明白であるが、今後は誘客活動の成果を把握するため、都度の入域観光客の推移を正確に把握し、その増減の影響や季節・島ごとの動向、消費額や旅行形態など多くの要因を考慮する必要がある。</p>	<p>・実施内容に関しては体制の見直しや強化を進め、誘客活動の厳選、受入対策項目との更なる連携強化を図り、より効果的な事業成果を出せるよう随時見直しを図っていく。</p> <p>・成果目標に関しては、これまでの観光入域者数や来場者数といったものだけではなく、受け地側の宿泊日数や現地消費額など、経済効果の見える目標指数が導入できるように、宿泊を始めとした観光客の詳細な動向を把握できるような体制(システム)を早期に構築する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・「八重山はひとつ」という基本姿勢はそのままに、そのなかで竹富町の特徴を活かしながら滞在型観光を推進していく。誘客活動の成果を滞在型観光の推進に繋げるべく、小規模多数が特徴となる本町の宿泊施設において、これらが中軸となるような滞在型観光の構築を図るため、旅行商品の再構築や誘客、講習会の実施やICT活用など、受け地としての質の向上を目的とした更なる受入体制の強化や底上げを行い、このなかで、入域観光客による旅行形態や消費額などを把握する。</p>		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24,540</td><td>24,540</td><td>19,632</td><td>4,908</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,540	24,540	19,632	4,908	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,540	24,540	19,632	4,908	0										
<div> <div> <div>竹富町 24,540千円</div> <div> <div>委託料 22,900千円</div> <div>竹富町観光協会 22,900千円</div> <div>（観光客誘致にかかる委託業務）</div> </div> <div> <div>事務費 1,640千円</div> <div>（旅費）</div> </div> </div> </div>														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
		支出先の選定方法は妥当か。		・委託事業者は随意契約であったが、本町の観光施策に深く関わっており、その企業組織、これまでの実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。										
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		・費目・使途については、各活動への参加とそれに伴う経費であり、事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。										
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町									
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2-		小浜島観光関連事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度			沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)		
事業内容	カトレ海岸マングローブ林(干潟)へのアクセス道路が未舗装であることや駐車場がないことから、レンタカー・レンタサイクル等での往来に支障をきたしているため、進入路(430m)・駐車場(460.8㎡)及び東屋(30.25㎡)を整備し、小浜島の観光スポットとしての利活用を図る。									
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
			(a)当初予算額	7,750	33,611					
			(b)予算現額	3,392	35,088					
			(c)増減額(b-a)	4,358	1,477					
			(d)繰越額	-	-					
	A . 計(b+d)		3,392	35,088						
	B . 執行済額		3,391	35,081						
	うち交付金充当額		2,712	28,065						
	次年度繰越額		0	0						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%						
予算の状況の説明		前年度からの継続事業により、カトレ道路改良工事(1工区)及び(2工区)とも早期発注が出来たことにより、早めの工事完了することが出来た。								
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)			達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	・カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備	目 標	(設計用地取得)	(整備実施)	()	()				
		実 績	実施	整備実施完了						
		目 標	()	()	()	()				
		実 績								
達成状況説明	アクセス道路・駐車場及び東屋整備はH25年度に工事完了しすることが出来た。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
	・カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備完了(駐車可能台数20台)	目 標	()	(設計用地取得)	(駐車台数20台)	()	()			
		実 績		実施	普通車11台 大型バス2台					
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()			
		実 績								
	進捗状況説明	駐車場台数において、普通車20台分よりも大型バス駐車および旋回のスペースを確保した方がよいと判断したため整備内容を変更し、収容人数の増加が可能となった。 ・道路L = 430m ・駐車場A = 460.8㎡ ・東屋A = 30.25㎡								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地元の要望や安心安全の上からも現状にあった設計であり、大型バスや、レンタカー等の利用状況に応じた規模の駐車場整備である。今後の外部環境の変化により、駐車場不足の状態等には留意する。	・大型バスやレンタカー等の利用状況に応じ面積に不足が生じた場合は駐車場の拡張整備を行う。
今後の取り組み方針		
<p>・H25年度でアクセス道路・駐車場及び東屋の整備を行ったことにより、小浜島において新たな観光スポットが出来、これまで以上に観光客の誘致に貢献したい。</p> <p>・駐車場の利用状況等について地元住民より情報を得て、不足状態などが発生していないか確認を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35,081</td><td>35,081</td><td>28,065</td><td>7,016</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	35,081	35,081	28,065	7,016	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
35,081	35,081	28,065	7,016	0										
<pre> graph LR A[竹富町 35,081千円] --> B[工事請負費 35,032千円] A --> C[事務費 49千円] B --> D["(有)パナリ産業 29,047千円"] B --> E["(有)仲間土木 5,985千円"] D --- F["カトレ道路改良工事(1工区)に"] E --- G["カトレ道路改良工事(2工区)に"] C --- H["旅費、需用費"] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	西表浦内観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成	
事業内容	観光客の増加に伴う大型観光バス、レンタカー等の増加により、既存の駐車場は手狭で浦内川周辺の交通が混雑しているため駐車場整備を行う。また、日本の滝100選にも選ばれているマリユドゥの滝やカンビレーの滝に通じる遊歩道・東屋の測量設計を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	57,264	54,835			
		(b)予算現額	45,366	53,239			
		(c)増減額(b-a)	11,898	1,596			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	45,366	53,239			
	B.執行済額		45,359	53,230			
	うち交付金充当額		36,068	42,584			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%			
予算の状況の説明		・当初予算からの減額は入札残であり、事業内容を遂行し、適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・西表浦内の駐車場整備工事の実施	目 標	(設計・整備)	(整備工事)	()	()	
		実 績	設計・整備実施	整備完了実施			
	・マリユドゥ、カンビレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施	目 標	(駐車場用地取得)	(測量設計)	()	()	
		実 績	実施	測量設計実施			
達成状況説明	・駐車場整備工事においては、浦内川南・北ともに完了。設計においては浦内川遊歩道の測量設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・西表浦内の駐車場整備工事の実施	目 標	()	(北 788㎡ 南1,960㎡)	(北 845.7㎡ 南舗装1,339.1㎡)	()	()
		実 績		北 788㎡ 南1,960㎡	北 845.7㎡ 南舗装1,339.1㎡		
	・マリユドゥ、カンビレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施	目 標	()	()	(測量設計)	()	()
		実 績			測量設計実施		
	進捗状況説明	・駐車場整備工事においては、浦内川南・北ともに完了した。設計においては浦内川遊歩道の測量設計を実施した。 ・遊歩道・東屋等の整備はH26年度以降に各関係機関との事業調整後に整備工事を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・近年浦内川を訪れる修学旅行生や、一般観光客のカヌー体験等が増加しており、安心安全の上からも現状にあった設計であり、大型バスや、レンタカー等の利用状況に応じた規模の駐車場整備である。	・大型バスやレンタカー、または、カヌーのけん引車等の利用状況に応じ利用区分の割り振りをを行い、面積に不足が生じないよう利用を図る。
今後の取り組み方針		
・駐車場整備においてはH24年度からの継続事業によりH25年度で駐車場整備を完了することができた。浦内川遊歩道・東屋・トイレ及び展望台の整備においては、設計計画に基づき各機関と事業調整を行い順次整備を行う。 ・駐車場の利用状況等について地元住民より情報を得て、不足状態などが発生していないか確認を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村	交付対象外経費
		充当額	負担金	
53,230	53,230	42,584	10,646	0

竹富町
53,230千円

委託料
9,450千円

工事請負費
22,397千円

負担金
21,293千円

事務費
90千円

(有)三矢
エンジニアリング

(有)池村建設
12,632千円

(有)池村建設
9,765千円

(株)東部交通
21,293千円

旅費、需用費

浦内川南・北駐車場測量設計に

浦内川南駐車場整備に係る工事費

浦内川北2駐車場整備に係る工事費

浦内川北2駐車場整備に係る物件補償費

資金の 使途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事請負業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課		事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
	- 1 -(1)						
事業内容	平成24年度に構築したポータルサイトのシステム及びリソースを最大限に活用して行くためのオリジナルアプリの開発や、Wi-Fi整備を行う。また、当該事業を広く情報発信していくための効果的なプロモーション活動を検討し、本町の周遊観光の推進と特産品等の販路拡大に向けた情報インフラの活用促進を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	64,288	56,767			
		(b)予算現額	57,931	53,667			
		(c)増減額(b-a)	6,357	3,100			
		(d)繰越額	-	-			
		A. 計(b+d)	57,931	53,667			
	B. 執行済額		57,783	51,717			
	うち交付金充当額		46,200	41,373			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		99.7%	96.4%			
予算の状況の説明		・委託料及び工事請負費が入札残により減額となったため、予算減額することができた。適正予算であったと考える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	オリジナルアプリ開発	目 標	(調査・開発)	()	()	()	()
		実 績	調査・開発				
	プロモーション活動 (特派員人材育成含む)	目 標	(説明会開催)	()	()	()	()
		実 績	説明会開催(8回)				
	無料公衆無線LAN環境(Wi-Fi)整備	目 標	(30カ所)	()	()	()	()
		実 績	33カ所				
	達成 状 況 説 明	・オリジナルアプリの調査・開発を行うとともに、情報発信特派員制度の創設や効果的なプロモーション活動への施策を検討することができた。また、町内の公共施設や観光名所にWi-Fi環境を整備することができた。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (24年度)	25年度	26年度	27年度
オリジナルアプリ開発:1件		目 標	(-)	アプリ調査・ 開発1件	()	()	()
		実 績		アプリ調査・ 開発1件			
プロモーション活動 (特派員人材育成含む)		目 標	(-)	説明会開催	()	()	()
		実 績		説明会開催 (8回)			
無料公衆無線LAN環境(Wi-Fi)整備: 30カ所		目 標	(-)	30カ所	()	()	()
		実 績		33カ所			
進 捗 状 況 説 明		・本町独自のオリジナルアプリの開発と地元情報発信特派員を創設し、ポータルサイトやアプリの活用方法についての説明会を開催することができた。また、本庁舎及び町内33カ所の公共施設や観光名所にWi-Fi環境を整備することができ、その普及促進に向けたプロモーション活動について検討できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・Wi-Fi環境設置については、外国人観光客等の利便性及び満足度向上のための整備として、全町的に理解の上、工事を進めていたが、一部の地域住民から「観光用以外の利活用も検討してほしい」との声が聞かれた。	・観光客等、来町者の利便性向上重視のICT基盤整備の施策視点から、地域住民の利活用の促進に向けて、医療・福祉、防災等を含めたICT基盤整備の活用を図ることとした。
今後の取り組み方針		
・これまでのICT基盤のリソースを最大限に活用し、更なる活用方法を検討・模索していくための新情報システム調査に取り組み、行政サービスの向上に向けた諸施策の展開を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<div> <table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>51,717</td><td>51,717</td><td>41,373</td><td>10,344</td><td>0</td></tr> </table> <div> <div> 竹富町 51,717千円 </div> <div> <div>委託料 14,475千円</div> <div>工事請負費 37,174千円</div> <div>事務費 68千円</div> </div> <div> <div>(株)リウデン 14,475千円</div> <div>(株)リウデン 37,174千円</div> <div>(旅費)</div> </div> <div> <div>オリジナルアプリ開発、プロモーション業務、情報特派員人材育成等に係る委託業務</div> <div>Wi-Fi環境設置工事</div> </div> </div> </div>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	51,717	51,717	41,373	10,344	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
51,717	51,717	41,373	10,344	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事請負業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。また予算規模・費目・使途についても適正であった。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	黒島観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 ~ 2 6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	<p>国の有形文化財に登録されている伊古棧橋は多くの観光客が訪れており、多くのWEBサイトや観光ガイド本等のMAPに掲載されるなど、黒島の主要な観光スポット・景観地となっている。当該施設を訪れる観光客のほとんどがレンタサイクルを利用しているが、進入道路は凹凸が多く、降雨後は利用に支障をきたしている状況にあり、観光客へのイメージダウンとなっている。よって進入道路の整備(250m)、日陰等もないため東屋の整備(一棟)を計画し、観光客等の利用者の安全性の確保や利便性の向上を図る。平成25年度は測量および設計を行う。</p>						
実施方法	<div>直接実施</div> <div>委託</div> <div>補助</div> <div>負担</div> <div>その他 ()</div>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(b)予算現額	3,020				
		(c)増減額(b-a)	2,415				
		(d)繰越額	605				
		A.計(b+d)	-				
	B.執行済額		2,415				
	うち交付金充当額		1,932				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
	予算の状況の説明		・測量設計にかかる委託料が入札により当初予算より低額で実施することができたため、予算現額を減らすことができた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	・里道の測量及び設計業務の完了	目標	25年度	26年度	27年度	28年度	
		実績	(測量設計)	()	()	()	
		目標	()	()	()	()	
		実績	測量設計完了				
	達成状況説明	・平成25年度は測量・設計業務について実施完了した。未舗装の進入道路及び東屋の整備を平成26年度に着工し、観光地としてのイメージアップを図る。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・里道の測量及び設計業務の完了	目標	()	(測量設計)	()	()	()
		実績		測量設計完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・進入路250mと東屋一棟の整備のための測量・設計は終了した。平成26年度にスムーズに整備着工ができるよう準備し、観光地としてのイメージアップを図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・道路及び東屋整備において現場確認および設計を行ったところ、一部保安林にかかる箇所が判明した。保安林解除申請を行い、整備を進める必要がある。	・保安林について関係機関に相談を行ったところ、保安林解除が可能であったため、保安林解除申請を行い、整備を行う。
今後の取り組み方針		
・今まで未舗装で、道路が悪く雨や降雨後は通れない状況にあり、観光客へのイメージダウンとなっていたが、平成26年度事業により進入道路・日陰場所である東屋の整備を行うことで、観光地アクセスの安全性の確保および利便性を高め、観光地のイメージアップを図り、観光客の増加に繋げたい。		
・東屋を整備する場所が海の近くなるため、腐食等の被害を想定し、定期的な点検を検討していく必要がある。		
・保安林解除について、H26の事業執行に遅延しないよう手続きを行う。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,415	2,415	1,932	483	0

竹富町
2,415千円

→

委託料
2,415千円

→

株式会社
三矢エンジニアリング
2,415千円

(伊古棧橋進入道路及び東屋整備にかかる測量・設計委託業務)

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	旧太陽の村危険廃屋解体撤去事業及び公園等整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	価値創造のまちづくり - 1 - (1)		
事業内容	旧太陽の村では、廃屋が自然景観や優れた景観を損なわせるような状態にあるため、平成24年度事業において危険建物を撤去し、公園等の整備設計を実施した。平成25年度からは、前年度の実施設計をもとに展望台や遊歩道を設置することによって、住民や観光客の交流を促進し観光振興の拠点地域とする。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	50,883	120,000			
		(b)予算現額	42,324	106,932			
		(c)増減額(b-a)	8,559	13,068			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	42,324	106,932			
	B.執行済額		42,324	104,184			
	うち交付金充当額		33,850	83,347			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	97.4%			
予算の状況の説明		・整備工事執行を施工計画に基づきほぼ執行実施したが、1工区(その2・3)について資材搬入の遅れが生じ、わずかに年度内完了に至らなかった。未執行のうち2,348千円分の工事については町単独で繰越を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・公園等整備工事の実施 (工事内容) 拝所前広場、展望台、ボードウォーク、 取付道路、外柵整備	目 標	(公園等整備工 事実施)	()	()	()	
		実 績	公園等整備工事実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	・公園整備計画の拝所前広場、展望台、ボードウォーク、取付道路、外柵の整備など計画とおりの内容に整備できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	・公園等整備工事の実施 (工事内容) 拝所前広場、展望台、ボードウォーク、 取付道路、外柵整備	目 標	()	公園等整備工 事の実施	()	()	()
		実 績		公園等整備工 事の実施			
	〔参考指標〕		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進 捗 状 況 説 明	・旧「太陽の村」廃屋の取り壊し後の公園整備により周囲の景観とも違和感なく整備され、全体整備終了後の良好な状況が推察される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町議会から整備工事完了後の清掃・補修整備・光水熱費等の維持管理費について、積算と財源に指摘があり、内部検討委員会を立ち上げ検討する。	・公園整備検討委員会を立ち上げ、完成後の維持管理の方針等を整備し維持管理について、指定管理制度の活用、町の直轄管理等を含め利用者に安全で快適な利用が出来るよう十分な検討を行う。
今後の取り組み方針		
<p>・旧「太陽の村」の廃墟の撤去工事、平成25年度からは公園整備工事が実施されているが、ほぼ計画通りに整備され周辺景観によくマッチしていて良好な整備状況である。今後は平成28年度の供用開始に向け「うなり崎公園整備事業」として整備し、維持管理計画等を具体的に策定していく。</p>		

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	観光道路美化推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	主要な観光スポットを結ぶアクセス道路の、通行の安全確保や島々のまちなみと融合した景観の形成を図り、観光地としての質を高めるための美化保全清掃を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,696	56,180			
		(b)予算現額	6,859	19,076			
		(c)増減額(b-a)	2,163	37,104			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	6,859	19,076			
	B.執行済額		6,858	19,075			
	うち交付金充当額		5,486	15,259			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・当初計画では年間の清掃回数を4回としたが、事業計画の見直しで2回分に減額した。 ・事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況			達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・美化推進路線:4路線(12,878m)	目 標	(12,878m)	()	()	()	
		実 績	12,900m				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	平成24年度と同じ主要観光アクセス路4路線(12,900m)の美化作業を、平成24年度は1度実施したのを平成25年度は2度行った。また新たに590mの花苗植栽を行い、目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	・花植栽:竹富(180m)、小浜(150m)、 住吉(150m)、波照間(110m)	目 標	()	(590m)		()	()
		実 績		590m			
		目 標	()	(-)		()	()
		実 績		-			
	進 捗 状 況 説 明	・観光地へのアクセス道路の清掃および植栽美化をしたことにより、観光地景観の満足度向上が期待できるとともに、地元住民の日頃からの清掃意識の芽生えが期待できる。平成24年の花苗植栽は76mだったが、平成25年度は590m行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで7月頃に事業開始していたが、天候による影響を受け事業の進捗が計画よりも遅れた。 ・植栽美化後は、花への水やり除草等及び道路の清掃の維持管理が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節影響をあまり受けない観光シーズンに事業開始することにより、計画の進捗を図る。 ・花への水やり除草等及び道路の清掃等の維持管理に関しては、公民館及び婦人会の方たちの協力を得る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・島別に委託を行うことにより、清掃回数及び植栽美化延長の増加を図る。 ・地域住民の要望をリサーチして、維持管理に協力してもらう体制を構築する必要性がある。 		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		19,075	19,075	15,259
				市町村負担金
				3,816
				交付対象外経費
				0
<div><div><div>竹富町 19,075千円</div><div><div>委託料 18,980千円</div><div><div>有限会社 大地造園 8,400千円</div><div>西表造園土木 3,570千円</div><div>有限会社 富成造園 4,490千円</div><div>西表造園土木 2,520千円</div></div><div><div>歩道・路肩の除草清掃および植栽 竹富一周線</div><div>歩道・路肩の除草清掃および植栽 小浜島細崎線</div><div>歩道・路肩の除草清掃および植栽 住吉1号線</div><div>歩道・路肩の除草清掃および植栽 波照間海岸線</div></div></div><div><div>事務費 95千円</div><div>旅費</div></div></div></div>				

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。また予算規模・費目・使途についても必要分であり適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	観光景観地・指定文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を 確認できる環境づくり - 3 - (2)	
事業内容	島々に残された貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地の美化保全を進め、地域住民の文化財愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進める。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,250	3,005			
		(b)予算現額	3,250	3,005			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,250	3,005			
	B.執行済額		2,272	1,570			
	うち交付金充当額		1,817	1,256			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		69.9%	52.2%			
予算の状況の説明		・平成24年度は美化保全事業を民間業者に委託して実施した箇所もあったが、地域住民の文化財愛護意識を高めることを重視して全て地域公民館に業務を委託する方針で事業を進めたが、地域行事の都合に左右される事となり、低調な執行率になった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光景観地・指定文化財美化保全実施	目 標	美化保全事業の実施	美化保全事業の実施	()	()	
		実 績	美化保全事業の実施	美化保全事業の実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	・平成25年度は4地区(竹富・祖納・鳩間・波照間地区)で美化保全事業を実施することができた。 ・全て地区公民館に委託して実施し、地域住民の手によって地域の文化財等の美化保全を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	観光景観地・指定文化財美化保全実施箇所 国:5 県:1 町:6箇所	目 標	()	(12箇所)		()	()
		実 績		17箇所			
	〔参考指標〕		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進 捗 状 況 説 明	・実施箇所については、計画以上の場所で実施する事ができたが、地区ごとで見ると、6地区で計画していたうち、実施は4地区に止まった。一年を通じて適切な状況を維持するためには実施時期や回数の検討が必要である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は地区公民館が実施主体となり、地域住民の手によって地域の文化財等を美化保全を行う事を目標として事業を実施したが、結果として実施箇所や実施時期に課題が残った。 ・地区公民館も様々な事業を抱えているため、公民館の組織下に観光景観地・指定文化財の美化保全を行う組織づくりや人材を育成が必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業者との連携や地域の社会教育団体との連携が必要。 ・実施計画の策定の段階から、実施主体となる地域との連携が必要。 ・地域住民で実施が難しい場所や時期については、業者への業務委託も検討が必要。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の現地学習会や観光業者等と連携して関係を深め、文化財の美化保全を行う組織づくりや人材を育成を行い、またツアー等の実施により観光資源として観光景観地・指定文化財の一層の活用を図りたい。 ・観光景観地・指定文化財が、来島客の多い時期に清掃状態が保たれるよう、地元住民および業者と実施可能時期や実施方法を検討していきたい。 		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		1,570	1,570	1,256
				市町村負担金
				314
				交付対象外経費
<div><div><div>竹富町 1,570千円</div><div>委託料 1,570千円</div><div><div>竹富公民館 700千円</div><div>〔竹富島内史跡の清掃業務等委託〕</div></div><div><div>鳩間公民館 310千円</div><div>〔鳩間島内史跡の清掃業務等委託〕</div></div><div><div>祖納公民館 400千円</div><div>〔西表島祖納地区文化財の 清掃業務等委託〕</div></div><div><div>波照間公民館 160千円</div><div>〔波照間島下田原城跡の 清掃作業業務等委託〕</div></div></div></div>				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。		・委託先については、計画どおり地域公民館に委託して実施した。 ・事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認して支出した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	黒島地区主要路線ギ木化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (6) - ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり - 1 - (1)	
事業内容	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、ギ木とその背景の牧場風景を活かした県道213号線は「日本の道100選」にも選定され観光道路となっていることから、島全体を観光地として魅力向上を図る為、県道以外の主要道路にもギ木柵を設置する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	34,484	110,000			
		(b)予算現額	14,499	126,000			
		(c)増減額(b-a)	19,985	16,000			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	14,499	126,000			
	B.執行済額		14,499	125,635			
	うち交付金充当額		11,598	100,508			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%			
予算の状況の説明		・計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・事業執行の効率化により事業効果の早期発現を図ることが可能となったため、対象路線を延長し当初予算から1,600万円を増額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	町道黒島1周線 ギ木設置延長 750m(両側設置)	目 標	(L=1,500m)	()	()	()	
		実 績	L=2,948m				
		目 標	()		()	()	
		実 績					
達成状況説明	・事業執行の効率化により事業効果の早期発現を図ることが可能となったため、当初予算から1,600万円を増額補正し、黒島主要路線である黒島港～仲本海岸にかけてギ木を2,948m設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	黒島主要路線(黒島1周線) ギ木設置延長 750m (両側設置)	目 標	()	(L=1,500m)	()	()	()
		実 績		L=2,948m			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・当初見込んでいた整備延長よりも大幅にギ木を整備することで、島全体を観光地として魅力向上を図り、観光地に適した景観形成に寄与することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・島内主要路線すべての車道両端部にギ木を設置する計画を予定しており、増加する観光客の利用状況や地元の要望を踏まえ、ギ木設置の優先順位を検討をする。	・ギ木の清掃や除草など今後の維持管理が行いやすい設置箇所の検討や、観光客の利用状況を踏まえ施行路線の見直しを図る。
今後の取り組み方針		
・H26年度において黒島港～仲本海岸にかけてのギ木設置工事(総延長850m)が完了予定であることから、ギ木の清掃や除草など今後の維持管理が行いやすい設置箇所の検討や、観光客の利用状況を踏まえ、3年間の事業成果を基に事業計画の見直しを図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<div><table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>125,635</td><td>125,635</td><td>100,508</td><td>25,127</td><td>0</td></tr></table><div><div>竹富町 125,635千円</div><div>工事請負費 125,607千円</div><div>事務費 28千円</div><div>有限会社仲間土木 43,597千円</div><div>船道土木 45,153千円</div><div>知念土建株式会社 36,857千円</div><div>旅費</div><div>黒島一周線ギ木設置工事1工区</div><div>黒島一周線ギ木設置工事2工区</div><div>黒島一周線ギ木設置工事3工区</div></div></div>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	125,635	125,635	100,508	25,127	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
125,635	125,635	100,508	25,127	0										

資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・工事請負業者は指名競争入札により決定したので、予算使途等適正と考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	竹富町デIGOヒメコバチ防除事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (1) - イ	
担当部課名	自然環境課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用 - 1 - (1)	
事業内容	県花のデIGOを保護するため、害虫のデIGOヒメコバチの防除を実施し、島々の景観、まちなみを保全することで優れた観光地の形成を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	2,541	287			
		(b)予算現額	2,206	287			
		(c)増減額(b-a)	335	0			
		(d)繰越額	-				
	B. 執行済額		2,206	287			
		うち交付金充当額	2,205	249			
		次年度繰越額	1,764	199			
		執行率(%) (B/A)	0	0			
	100.0%	86.8%					
予算の状況の説明	・平成25年度は薬剤注入のための現地旅費と注入委託費であり、事業執行に対し、十分な予算であった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	27年度	
	・ヒメコバチ防除(デIGO木薬剤注入作業)	目 標	(注入実施)	()	()	()	
		実 績	注入完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・今年度は竹富島公民館へ薬剤注入委託を行い、西表島、黒島、波照間島、小浜島の4島は職員が注入作業を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	・ヒメコバチ防除(デIGO木薬剤注入作業) (薬剤注入1,020本)	目 標	()	(1,020本)	()	()	()
		実 績		1,050本			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・目標の1,200本以上の薬剤を注入することができた。薬剤注入の効果の検証を行っていく。					

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	墓地景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－（6）－ア	
担当部課名	自然環境課	事業実施（予定）年度	平成 2 5 ～ 2 6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり - 1 - （1）	
事業内容	<p>沖縄特有の文化により、墓地の区域指定がないため墓地が散在しており環境保全、景観上の問題、土地利用の面等さまざまな課題が生じている。このため、墓地の無秩序な立地を防ぎ、計画的な集約化を図り観光地としてのまちなみや優れた自然景観を保全するための調査を行う。</p>						
実施方法	<div> <div>直接実施</div> <div>委託</div> <div>補助</div> <div>負担</div> <div>その他（ ）</div> </div>						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a)当初予算額	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(b)予算現額	8,064				
		(c)増減額(b-a)	6,930				
		(d)繰越額	1,134				
		A.計(b+d)	0				
	B.執行済額		6,930				
	うち交付金充当額		5,544				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
	予算の状況の説明		・平成25年度で地域住民へのアンケート調査、竹富町墓地整備基本計画策定委員会を開催する予定であったが、委託前の事前調査に予定外の時間を要し、平成25年度は墓地台帳の整備までとしたため予算執行額が減額となった。				
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・墓地基本計画策定に係る 住民意向等調査	目 標	（ 意向調査 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	未実施				
	・検討委員会の実施	目 標	（ 検討委員会の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	未実施				
達成状況説明	・平成25年度で地域住民へのアンケート調査、竹富町墓地整備基本計画策定委員会を開催する予定であったが、委託前の事前調査に予定外の時間を要したため、平成25年度は墓地台帳の整備までとした。 ・実態調査の結果、竹富町全体の墳墓数(970基)及び分布図、地区別墳墓基数、墳墓の形態、素材、管理状況、立地状況が把握できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	・墓地基本計画策定に係る 住民意向等調査報告	目 標	（ ）	（ 意向調査報告 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		未実施			
	・検討委員会報告	目 標	（ ）	検討委員会報告	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		未実施			
	進捗状況説明	・墓地基本計画策定の基礎資料となる墓地の立地場所や管理状況、墳墓形態及び墓地ごとの面積等を調査し、墓地分布図及び墓地台帳を作成完了した。実態調査のを踏まえ、これから建設される墓地の集約化に向けて地域住民への説明会及び竹富町墓地基本計画策定委員会を開催し、墓地基本計画の策定、推進及び墓地行政の円滑な実施を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・竹富町墓地実態調査によると、墓地の管理状況は良好であるが、立地状況で農業振興地域・農用地区域にもっとも多く建設されている状況である。また個人の都合でいたるところに墓地が建設されていることからこれからの墓地建設については墓地の集約化を推進する必要がある。	・計画的な個人墓地の集約化を推進するため地域住民への墓地に関するアンケートの調査、墓地の現状を説明会を実施し、竹富町における望ましい墓地のあり方として、伝統的な墓地等への対応、墓地周辺の生活衛生、環境保全への対応等、今後の墓地整備のありかたという観点から取りまとめ基本計画を策定する。
今後の取り組み方針		
・実態調査の結果、竹富町全体の墳墓数(970基)及び地区別墳墓基数、墳墓の形態、素材、管理状況、立地状況が把握できた。調査の結果を踏まえ、これから建設される墓地の集約化に向けて地域住民への説明会及び竹富町墓地基本計画策定委員会を開催し、墓地基本計画の策定、推進及び墓地行政の円滑な実施を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		6,930	6,930	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		5,544	1,386	
<div><div>竹富町 6,930千円</div><div>委託料 6,930千円</div><div>株式会社 沖縄チャンドラー 6,930千円</div><div>〔竹富町墓地実態調査委託業務〕</div></div>				

資金の流 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札により決定しており妥当である と考える。また予算規模・費目・用途についても必要分であり 適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	不法投棄抑制事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (6) - ア	
担当部課名	自然環境課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
					-1-(1)		
事業内容	本町の有する沖縄特有のまちなみや自然景観が不法投棄により景観を損ねているため、排出処理することで観光地としての質の高い自然景観、まちなみの保全を図る。又、不法投棄啓蒙活動を実施しごみ問題の解決を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,180				
		(b)予算現額	8,082				
		(c)増減額(b-a)	98				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	8,082				
	B.執行済額		8,047				
	うち交付金充当額		6,437				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		・入札残による予算減額のほか、事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・不法投棄調査 ・不法投棄処理運搬 ・不法投棄啓蒙活動	目 標	(町内7島8地区)	()	()	()	
		実 績	町内7島8地区				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・不法投棄の適正な排出処理を実施することができた。本町が有する優れた自然環境や島々の景観が保全され、質の高い観光地としての景観形成が図られた。また、廃棄物の種類及び数量把握を行った。処理箇所においてはパトロール及び看板の設置等周知及び啓蒙活動を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・不法投棄抑制事業報告書作成 (実態把握・処理結果・啓蒙活動)	目 標	()	7島8地区報告書作成	()	()	()
		実 績		7島8地区報告書完成			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・事業報告書に基づく不法投棄物の分析、排出量の分析を行った結果、大型家電の投棄物が多いことが見込めるため、引っ越しシーズンに向けた監視パトロール、監視カメラ及び防止看板等の設置等を行い、再発防止に向けた取り組みにつなげる。					

市町村名	竹富町							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3 -	景観ガイドライン作成委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (1) - エ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の適正利用 - 1 - (1)		
事業内容	景観計画に示された景観づくりの基準について、地域住民・事業者・行政等が共通の認識をもつための解説本となるガイドラインを作成する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,044					
		(b)予算現額	893					
		(c)増減額(b-a)	151					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	893					
	B.執行済額		893					
	うち交付金充当額		714					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・ガイドライン作成委託業務を指名競争入札を実施したところ入札による予算減額ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度		
	景観ガイドラインの作成	目 標	景観ガイドラインの作成 ()	()	()	()		
		実 績	景観ガイドライン完成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・地域住民・事業者・行政等が共通の認識で景観づくりに取り組む景観ガイドラインが完成したので、今後の景観づくりの指標として活用する。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	景観ガイドラインの作成	目 標	()	景観ガイドラインの作成	()	()	()	
		実 績		景観ガイドラインの完成				
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・竹富町らしい景観を保全するため、作成した景観ガイドラインを地域住民及び景観形成に係る関係者に配布し、今後の開発・建設に係る参考としてもらう。						

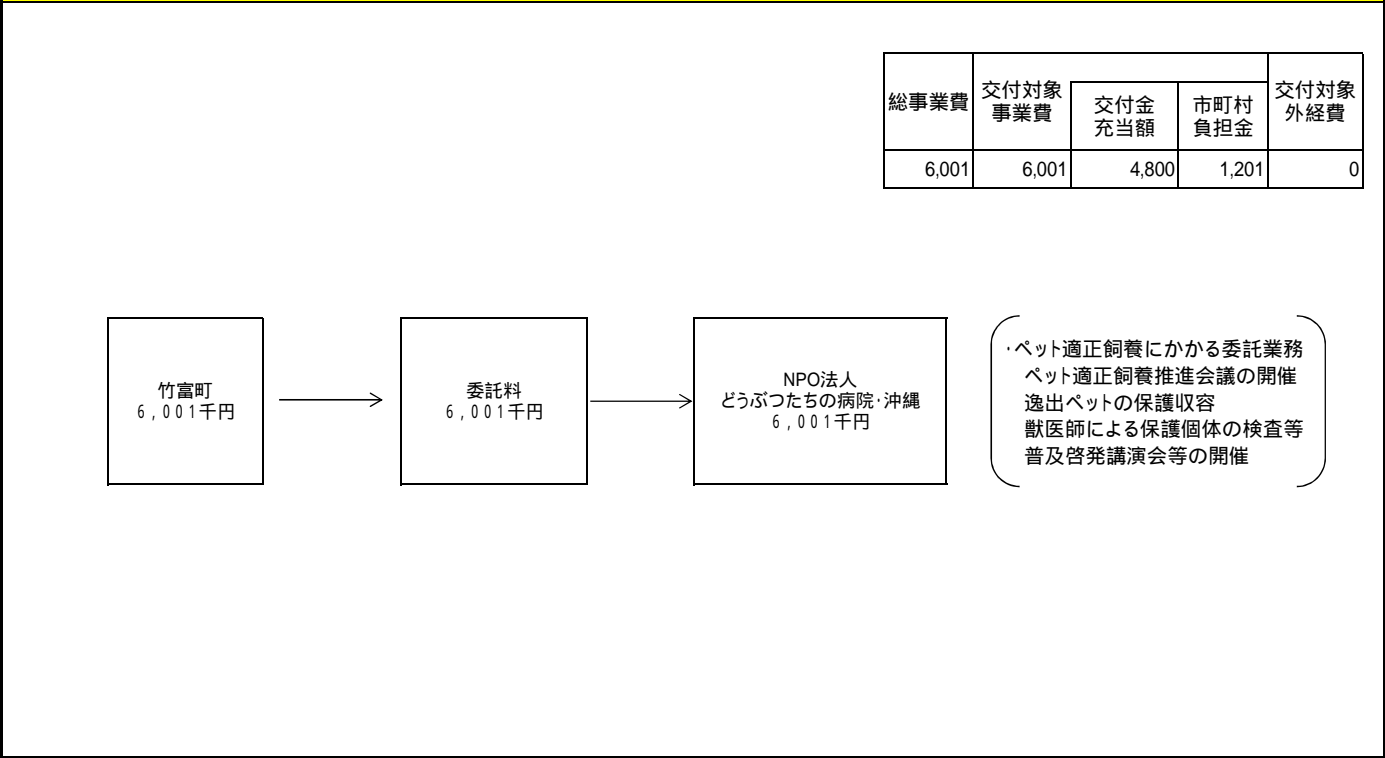
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・景観ガイドラインを作成しこれを基に今後、景観計画を施行する上で住民、事業者への周知を行い共通の認識を持つことが重要となる。	・町の広報誌等への掲載など景観ガイドラインを広く周知する。
今後の取り組み方針		
・景観等に関するガイドラインを基に本町の景観形成概念を広く地域住民、関係者と共有していく。		

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	竹富町ペット適正飼養推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (1) - ア	
担当部課名	自然環境課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 9 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全		
事業内容	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅の恐れのあるイリオモテヤマネコほ保全するため、西表島におけるペットの適正飼養を推進するために諸施策を実施する。西表ペット適正飼養推進会議の開催や、ノラネコの保護収容及び収容個体の適切な処置、適正飼養に関する普及啓発講演会を開催する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,006	6,004			
		(b)予算現額	6,004	6,001			
		(c)増減額(b-a)	2	3			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	6,004	6,001			
	B.執行済額		6,004	6,001			
	うち交付金充当額		4,803	4,800			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・入札残があるが、事業内容に対し適正な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	西表ペット適正飼養推進会議の開催 逸出ペット保護収容 保護収容個体の処置 普及啓発講演会の開催 飼い猫登録実態調査	目 標	(実施)		()	()	
		実 績	全て実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	西表島でのペット適正飼養推進会議を地元住民関係者を中心に開催し、適正な飼養を推進する上での問題点や課題等について活発な意見を交換することができた。 地元住民の目撃情報を基に逸保護収容を実施した。 保護収容した個体は獣医師により所定検査を実施した。 普及啓発講演会は地元小中学校を中心に、地元公民館、関係するイベント等において開催し、広く啓蒙を図ることができた。 ネコ飼養条例に基づく登録データを利用し、実態調査を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ペット適正飼養推進会議の開催	目 標	(15)	(10)	(3)	()	()
		実 績		10	12		
	逸出ペットの保護収容	目 標	(15)		(3)	()	()
		実 績			12		
	普及啓発講演会の開催	目 標	()		(4)	()	()
		実 績			5		
進捗状況説明	ペット適正飼養推進会議を西表島にて開催し、適正飼養について関係機関との情報共有を図ることができた。 逸出ペットの保護収容は目標の4倍、12頭保護された。現在町内にて飼養されているネコは竹富町の竹富町ネコ適正飼養条例により登録後に去勢及び不妊処理が施術されている為、新たに子ネコが生まれたとの事例は無い。保護収容された個体は移住者により持ち込まれた個体であると考えられ、引き続きネコ条例の周知徹底が課題である。 普及啓発に関する講演会は実施目標を上回り5回開催することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・平成25年12月に西表島が世界自然遺産の登録候補地として決定された。自然遺産としての現状環境の保護担保措置としてイリオモテヤマネコをはじめとする貴重な動植物の保護・保全が急務となっており、本事業の継続した実施が望まれている。又、移住者により持ち込まれたと考えられる個体の保護収容も後を絶たない為、竹富町ネコ適正飼養条例の周知徹底を図らなければならない。</p>	<p>・推進上の課題である島外からのネコ持込防止や竹富町ネコ適正飼養条例の周知徹底を図るため、新聞社等のマスコミにも本事業に関する情報を提供し普及啓発を進めめる。</p>

今後の取り組み方針
<p>・竹富町ネコ飼養条例の普及啓発・周知徹底を中心に、世界自然遺産登録候補地として現状環境の保護担保に努める。又、島内へのペットの持込を防止するため、船舶会社へも情報提供などの協力を求める。</p>

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託業務者は実績を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。また予算規模・費目・使途についても必要分であり適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町											
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	5 -		和牛生産推進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (7) - ウ			
担当部課名	農林水産課			事業実施（予定）年度		平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所		農林水産物の安全・安心の確立		
										- 1 - (6)		
事業内容	本町の主産業のひとつは畜産業であるが、離島ゆへの地理的経済不利が生じている。市場競争で負けないよう、優良で高品質な和牛生産を推進するため、口蹄疫侵入防止対策として、各離島港湾に消毒用マットを設置し、消毒薬散布等を実施する。また、優良母牛購入費用の一部を助成する。											
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）											
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,463		15,524							
		(b) 予算現額	9,463		15,524							
		(c) 増減額 (b-a)	0		0							
		(d) 繰越額	-		-							
		A . 計 (b+d)	9,463		15,524							
	B . 執行済額		9,369		14,290							
	うち交付金充当額		7,494		11,432							
	次年度繰越額		0		0							
	執行率（％）(B/A)		99.0%		92.1%							
予算の状況の説明		・優良母牛導入助成金の導入額、防疫対策委託料及び需用費の残により不要額が1,234千円発生した。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。										
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）			達成状況								
				24年度		25年度		26年度		27年度		
	離島港湾靴底消毒用マット設置	目 標	(消毒用マット設置)		(消毒用マット設置)		()		()			
		実 績	消毒用マット設置		消毒用マット設置							
	優良遺伝繁殖雌牛導入助成	目 標	(導入助成)		(導入助成)		()		()			
		実 績	導入助成		導入助成							
	高齢母牛早期更新助成	目 標	(-)		(更新助成)		()		()			
		実 績	-		更新助成							
	達成状況説明	・町内の港湾に靴底消毒用マットを設置し、防疫対策による信用性の向上および畜産の品質向上が図れた。 ・優良遺伝繁殖雌牛の導入費を一部助成したことで、竹富町畜産牛のブランド力向上を図った。 ・高齢母牛早期更新のため淘汰費用を一部助成したが、成牛セリ価格が高騰し出荷需要が高まったため、淘汰牛が減った。										
	成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）			基準値（年度）		24年度		25年度		26年度	
優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数：40頭		目 標	()		(40頭)		(40頭)		()		()	
		実 績			43頭		63頭					
高齢母牛早期更新奨励頭数：95頭		目 標	()		(-)		(95頭)		()		()	
		実 績			-		12頭					
進捗状況説明		・優良遺伝繁殖雌牛導入の目標が40頭であったが、成牛セリ価格が高騰したことで目標を上回る63頭の導入が出来た。同時に高齢母牛の更新する必要が減り、目標95頭の更新が実績12頭となった。今後も継続して行うことにより、竹富町として牛のブランド力を向上し、販売価格を高める。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・優良遺伝繁殖雌牛導入事業については、子牛のセリ価格が高騰しているため、購入費がかなり高額になっている。 ・成牛セリ価格も子牛セリ価格同様に高騰しているため、高齢母牛を淘汰するよりセリに出荷する農家が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子牛セリ価格高騰のため、購入費用の助成額を上げるために予算の増額、また、農家の方々に年間何頭導入出来るかを調査し、導入頭数の増頭が必要である。 ・高齢母牛を淘汰するよりセリに出荷する農家が多いため、今後高齢母牛のセリ出荷に対して助成するか検討が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も口蹄疫等を防ぐため、竹富町内の港湾に靴底消毒用マットの管理委託による防疫対策を実施する。 ・優良遺伝繁殖雌牛導入についても、農家の方々が年間何頭導入出来るかを調査し、ニーズにあった増頭を図る。 ・高齢母牛早期更新助成については市場が沈静化するまで見送る。 ・竹富町の和牛改良推進を図るためこの導入事業を継続していきたい。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,290</td><td>14,290</td><td>11,432</td><td>2,858</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,290	14,290	11,432	2,858	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,290	14,290	11,432	2,858	0										
<pre> graph LR A[竹富町 14,290千円] --> B[委託料 1,388千円] A --> C[委託料 12,184千円] A --> D[委託料 120千円] A --> E[事務費 598千円] B --> B1[個人業務委託者 4名 1,388千円] B1 --- B2[防疫対策にかかる 業務委託料 竹富・黒島・小浜・波照間] C --> C1[沖縄県農業協同組合 12,184千円] C1 --> C2[導入農家 12,184千円] C2 --- C3[優良遺伝繁殖雌牛導入 業務にかかる委託料] D --> D1[沖縄県農業協同組合 120千円] D1 --> D2[農家 120千円] D2 --- D3[高齢母牛早期更新奨励事業 業務にかかる委託料] E --- E1[需用費] </pre>														
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務者は各地区肉用牛生産組合で勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・受益者との負担関係は、和牛導入に係る費用の3分の1・上限20万円と各地区肉用牛生産組合で算定しており、妥当である。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 -	読書支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (11) - イ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 - 3 - (1)	
事業内容	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児・児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として、学校図書室を地域へ開放し学校図書室へ人員を配置して読書支援を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	1,679	5,044			
		(b)予算現額	1,574	5,044			
		(c)増減額(b-a)	105	0			
		(d)繰越額	-	0			
		A.計(b+d)	1,574	5,044			
	B.執行済額		1,574	4,851			
	うち交付金充当額		1,259	3,881			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.2%			
予算の状況の説明		・共済費・旅費の執行残として不用額193千円が発生しているが、事業計画の活動目標・成果目標を達成状況を鑑みて適正な予算執行であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・図書支援員の巡回日数 15回/月 (黒島校・小浜校)	目 標	15回/月	()	()	()	
		実 績	15回/月				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・両校月15回の巡回日数を達成でき、図書館を利用する地域住民も定着してきた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	・黒島地域住民の図書貸出冊数 30冊/月 ・小浜地域住民の図書貸出冊数 45冊/月	目 標	(4冊/月 21冊/月)	(30冊/月 45冊/月)	(30冊/月 45冊/月)	()	()
		実 績		20冊/月 43冊/月	26冊/月 50冊/月		
	【参考指標】		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進捗状況説明	事前に保育所や福祉施設等でリクエストを聞き取り、出向いて貸出を行った。 図書館だよりを各家庭に配布するだけでなく、学校のホームページに掲載し、商店、公民館、港、診療所、民間ホテルの社員寮等、人の出入りが多い場所へ掲示した。 以上の2点が目標の合計冊数75冊達成に繋がったが、黒島地区は新規利用者が増えず月間貸出平均の目標を下回っている。					

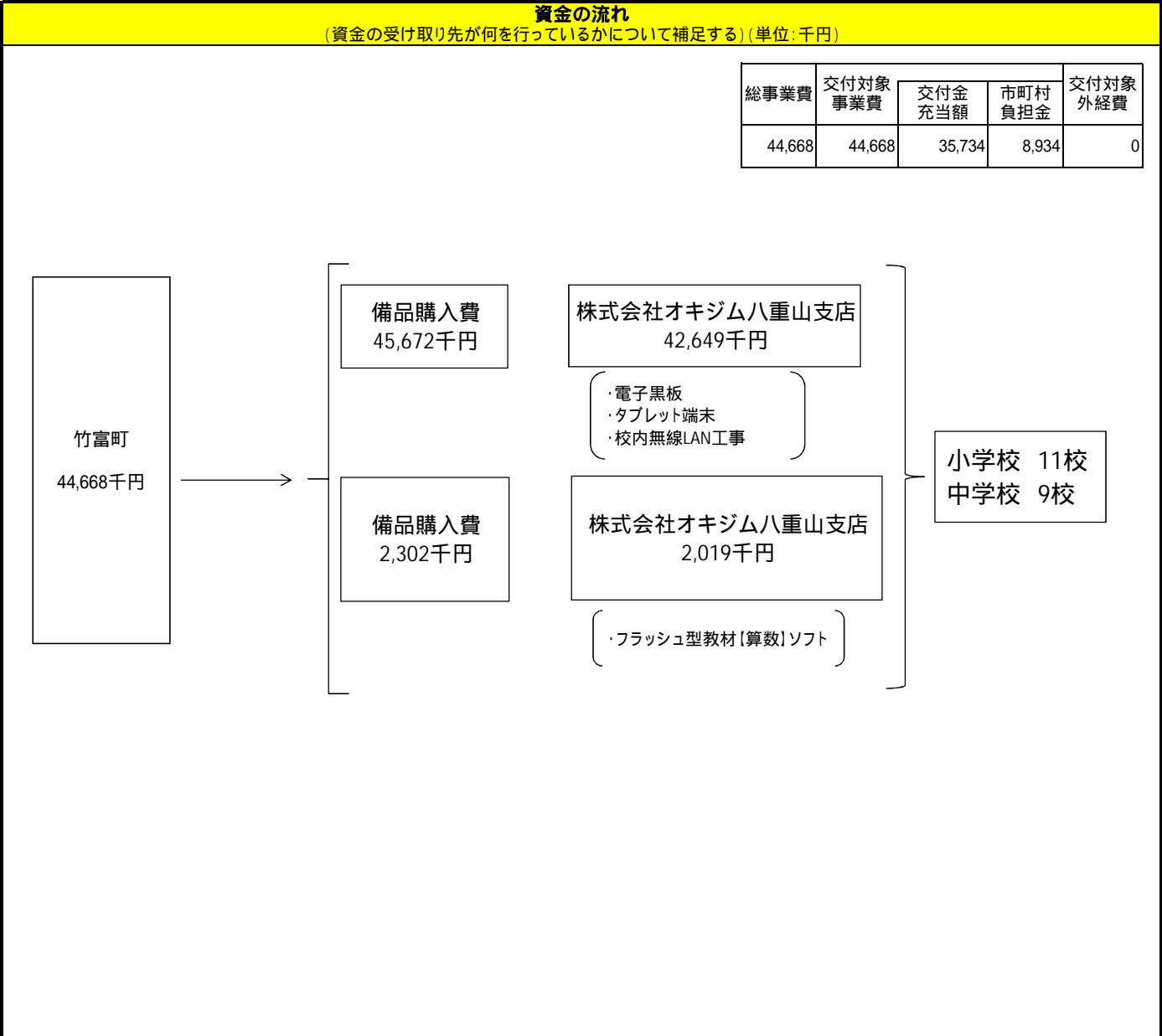
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・黒島地区はほとんどが農家なので、農業に従事する方にとって学校図書を開放している時間帯に利用しづらいことが課題として挙げられる。 ・本を読む習慣のない成人に読書への興味を持ってもらえるよう対策を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の利用促進を図るため、開館時間帯に来館できない人への配達を検討する。 ・学校図書室には実用書が少なく、読書への興味を持ってもらうためにも県立図書館と共催の移動図書館開催時に、成人向け実用書(農業や園芸、観光業等の専門誌)の貸出から勤める。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、福祉施設等へ出向いての貸出を継続する。 ・学校図書室や県立図書館の一括貸出事業(リクエスト不可)で実用書(雑誌)を借りることは難しいが、移動図書館で実用書(雑誌)のリクエストや貸出が可能であることをアピールする。 ・町の保健師が地域巡回をする際に同行させてもらい、図書館開放の案内やリクエスト収集を行えるよう相談する。 ・地域で集団健診を行う際に、図書コーナーを設けることが可能か検討する。 		

資金の流れ												
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)												
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>4,851</td><td>4,851</td><td>3,881</td><td>970</td><td>0</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	4,851	4,851	3,881	970	0
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
4,851	4,851	3,881	970	0								
<div><div><div>竹富町 4,851千円</div><div><div>共済費 496千円</div><div>賃金 3,232千円</div><div>旅費 1,122千円</div></div></div><div><div>〔 社会保険料負担金、雇用保険料負担金 〕</div><div>〔 読書支援事業(図書支援員)に係る非常勤職員賃金 2名 〕</div><div>〔 黒島、小浜島への旅費 〕</div></div></div>												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明								
		支出先の選定方法は妥当か。		・賃金・共済費等は竹富町規約に準じて支出された。旅費は学校訪問する際の渡航費である。 ・事業規模に対し、適切な予算規模、支出先であると考え る。								
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。										
		受益者との負担関係は妥当であるか。										
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (2) - ア	
担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 - 3 - (1)	
事業内容	日本最南端の町である竹富町では、児童生徒の遠征活動に保護者の負担が大きく重なり十分な課外活動が行いにく状態にある。そこで、町内の児童生徒が町外へ選手や各種コンクール等の受賞者として派遣される場合の船賃・航空賃及び宿泊費を派遣費補助規程に基づき遠征費補助を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,650	2,237			
		(b)予算現額	1,803	4,109			
		(c)増減額(b-a)	847	1,872			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	1,803	4,109			
	B.執行済額		1,719	3,780			
	うち交付金充当額		1,375	3,024			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		95.3%	92.0%			
予算の状況の説明		・当初予算額の見込み誤り、また前年度に比べ県大会派遣生徒が増えたことにより、大幅な増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	児童生徒派遣費助成	目 標	(派遣費助成)	(派遣費助成)	()	()	
		実 績	派遣費助成	派遣費助成			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・4月から助成できたことから、平成24年度に比べ小中学校共に県大会等派遣生徒が増えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	児童生徒選手等派遣人数	目 標	()	(280人)	(440人)	()	()
		実 績		442人	704人		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・スポーツ及び文化的活動大会、コンクール等への積極的な参加が増えており、このことは本事業の目的である、大会を通じて貴重な体験経験をいかした人材育成や保護者の負担軽減に大きく繋がっている。					

市町村名	竹富町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	学校ICT環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 総務課・教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の充実	
						-3-(1)	
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の育成と教育の振興、学力向上を図るため、ICT端末等を活用した情報の多様化、高度化に対応した教材を導入する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(a)当初予算額	45,672				
		(b)予算現額	45,155				
		(c)増減額(b-a)	517				
		(d)繰越額	-				
	B. 執行済額		44,668				
		うち交付金充当額	35,734				
		次年度繰越額	0				
		執行率（%）(B/A)	98.9%				
	予算の状況の説明	・当初、電子黒板・タブレットの整備のみであったが、事業執行の効率化により事業計画追加として教材ソフトも購入行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・電子黒板の整備 20台	目 標	(電子黒板20台)	()	()	()	
		実 績	電子黒板20台				
	・タブレット端末の整備 179台	目 標	(タブレット179台)	()	()	()	
		実 績	タブレット179台				
	・校内無線LAN整備 小11校、中9校	目 標	(無線LAN 小11校、中9校)	()	()	()	
		実 績	無線LAN 小11校、中9校				
	達成状況説明	・目標である電子黒板の台数、タブレット端末の台数、校内無線LANの整備を計画どおりに整備を完了した。また事業執行の効率化により事業計画追加として教材ソフトも購入行った。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度
・町内小中学校への電子黒板設置率100%		目 標	()	(設置率100%)	()	()	()
		実 績		設置率100%			
・町内小中学校内無線LAN整備率100%		目 標	()	(整備率100%)	()	()	()
		実 績		整備率100%			
進捗状況説明		・町内小中学校へ電子黒板、タブレット端末、無線LANの整備を終えた。(整備率100%) ・整備後は校内研修などの時間を活用し、各学校で教師向け電子黒板・タブレットの使い方の研修を行い、授業で児童生徒へ教授できるように取り組む。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板は1校に1台の整備を行ったが、大型の為、教室間の移動が困難ということで、教室に1台の整備が好ましいという意見がある。 タブレット端末は最大学年の人数分の整備を行ったが、児童生徒の転入があった場合は早急に増数したりする体制作りが必要。 無線LANのパスワード管理がセキュリティ面でも重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 26年度内に各学校へアンケート調査を行い、電子黒板の使用頻度等を集計し、増数するか否かを検討する。 予算編成時に、過去の転入児童生徒の人数を平均化し、転入の見込み人数分を、台数の増数予算として計上する。 26年度に学校ICT支援員を派遣するため、定期的にパスワードの変更、セキュリティチェックなどを行い、セキュリティに関する資料は教育委員会で保存する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板やタブレット端末の使い方を学校ICT支援員が講師となり研修を行い、教職員児童生徒のICT機器に対する苦手意識を減らす。 アンケート等で利用頻度や端末台数・セキュリティ管理を行い、電子黒板等の増数検討や適正に活用されているか把握する。 		



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・業者は指名競争入札で決定し、また沖縄県内でも学校などへの備品整備実績があるため、選定方法は妥当だといえる。また予算規模・費目・使途についても必要分であり適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	